



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』 メールマガジン 第2号

2002年12月22日発行

世界各地は、どこもクリスマスでにぎわっていることでしょう。ここエクアドルの首都キトは12月6日が市制記念日で今年は468周年になります。キト祭と呼ばれるこの時期には、毎日のように闘牛場から歓声があがり、特別仕立てのバスには楽隊といっしょに車体の屋根の上にも市民が乗り込んで、「ピバ・キト(キト万歳)！」とさけびながら街中を周って祭り気分をもちたてます。HCJBでは、キト祭にあわせて毎年コンサートをひらいて市民に音楽のプレゼントをします。今年はゲストのトランペット奏者 Tim Zimmermanの熱演も加わって大好評でした。このコンサートの模様はHCJBインターネット日本語放送で第一部 12月24日 と第二部 12月25日 を放送します。また日本では、BSC301チャンネルのデジタル音声放送でも放送される予定です。ぜひお楽しみください。



総勢百三十名のHCJBクワイアとオーケストラの総指揮をした尾崎道夫は今年で四年目ですが、その間にクワイアのメンバーがこれまでの宣教師中心から、若いエクアドル人クリスチャンにほとんど入れ替わっているのが目立ちました。ひとりびとりの歌う姿には、自分もこうして賛美の奉仕ができるという喜びがパワーとなってあふれ出ており、世代交代とともに、土着化がすすむ教会音楽の近未来をみせられた感じでした。コンサート最終日。演奏がすべて終わって拍手のうちに指揮台をおりた道夫に、3歳半になる娘のリンダ・ジョイが舞台にあがって花束を送りました。そのうち、父親が指揮するクワイアに娘たちが参加して賛美するようになる日もそう遠くのことではないでしょう。

ところで、二千年前のキリスト出現について、聖書は「定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わされた」(ガラテヤ4・4)と記録しています。当時は徹底したローマ政治の統一が普遍的法則に基づいて人類はひとつであるという意識を生んでいました。今の時代にさかんに使われている「グローバル」や「ボーダレス」という現代用語に類似点がみられます。またローマの道路は丘をこえ、谷をわたって帝国の末端まで達していました。普遍的言語もローマ時代のギリシャ語にかわって英語が多国籍民族の共通語になり、言語翻訳もコンピューター技術で容易になりました。あらゆるメッセージが情報ハイウェイをかけぬけていきます。紀元一世紀以来、これほど広大な地域が共通の意識と、共通のシステムのもとに置かれたことはありません。ローマ帝国時代に神の定めによって遣わされた神の子が、今、ふたたび暗黒を照らす救いの光として出現しても不思議ではありません。おそらく神はあらゆる伝達ツールをいかして、クリスマスの中心メッセージである神の愛がこの世の隅々までいきわたることを願っておられるに違いありません。ただ表面的なクリスマスを祝うのではなく、「いと高き所に、栄光が、神にあり、地の上に、平和が、御心にかなう人々にあられるように」(ルカ 2・14)と賛美した天使の歌声があなたの心にこだまし、クリスマスの本当のよこびがおとずれるようにお祈りしています。

アンデスからクリスマスおめでとう！

「アンデスの声」

在 尾崎一夫 久子

【アクセシビリティについて】

このメールマガジンは、The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/TR/WAI-WEBCONTENT/>)ならびに総務省電気通信アクセス協議会 (<http://www.jwas.gr.jp/>) が提唱している「アクセシビリティ」についてのガイドラインを参考に制作しています。

このメールマガジンのアクセシビリティについてお気づきの点がございましたら、[HCJB『アンデスの声』日本語部](#)までお知らせください。

「アクセシビリティ」とは、「ユーザの年齢や障害の有無を問わず、コンピュータを利用しての情報の送受信ができること、あるいは、その使いやすさ」を意味しています。

このメールマガジンは、HCJB『アンデスの声』日本語部の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB『アンデスの声』日本語部](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、[この内容で送信する] ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、**Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。**ご面倒ですが、[HCJB『アンデスの声』日本語部](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

配信変更先のメールアドレス
(**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

新規登録するメールアドレス

お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。
このメールマガジンはコンテンツが大きいので、携帯電話への配信はできません。



Copyright © 2002 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: kozaki@hcjb.org.ec

郵便の宛先: HCJB, Casilla 17-17-691, Quito, ECUADOR
